

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費

項：医務費

目：医務費

事業名 看護職員等就業促進研修事業費 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 看護係 電話番号：058-272-1111(内3275)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,600 千円 (前年度予算額： 1,563 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,563	0	0	0	0	0	1,563	0	0
要求額	1,600	0	0	0	0	0	1,600	0	0
決定額	1,600	0	0	0	0	0	1,600	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 就業希望の看護補助者が、安心して就業できるよう、医療機関・高齢者施設が必要な研修を実施し、就業の促進を図る。
- 看護職員が不足している地元の小規模施設や訪問看護ステーションへの就業を促進するため、シニア世代の看護職員を対象に研修を行う。

(2) 事業内容

- 医療機関・高齢者施設による研修会の開催(2日間程度)
対象者 就業を希望する看護補助者
期 間 年間を通して実施(年間5回程度)
場 所 各圏域の医療機関、高齢者施設
経 費 研修実施に係る人件費、講師謝金等(医療機関への委託)
- プラチナナース研修
 - ①キャリアチェンジ研修
病院等に勤務する40代と60代の看護職員向けにキャリアチェンジやセカンドキャリアについて考える研修を行う。
 - ②プラチナナースセミナー
病院等に勤務するシニア世代の看護職員が同世代と交流を通して今後の働き方を考える場とし、プラチナナースの周知を行う。
 - ③求人施設向けセミナー
プラチナナースの活用促進のため、求人施設への説明を行う。
 - ④プラチナナース就職フェア
求人施設とプラチナナースが互いに情報交換ができる場を提供する。

(3) 県負担・補助率の考え方

地域医療介護総合確保基金

(4) 類似事業の有無

有【類似事業】看護職員再就業支援研修事業費

当事業は、就業を希望する看護師や新たに雇用された看護職員等を対象に、各医療機関、訪問看護ステーション等において研修を実施するもの。看護職員再就業支援事業は、再就業を希望する看護師等を対象に県が集合研修を開催するもの。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,600	医療機関・高齢者施設での研修を実施（年間5回程度） プラチナナース研修（全4種）
合計	1,600	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・長期構想

I－2 地域医療の体制と医師・看護職員を確保する

・医師・看護職員を確保する

・保健医療計画

4－4 保健医療従事者の確保・養成

・看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
看護職員等の需要が引き続き見込まれるため、潜在看護師等の再就業を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①研修実施回数 (医療機関等)		1回	5回	5回	5回	20%
②研修受講者数 (訪問看護S)		12人	15人	-	-	-
③研修受講者数 (キャリアチェンジ)		73人	60人	60人	60人	121%
④研修受講者数 (セミナー)		-	20人	20人	20人	-
⑤研修受講者数 (施設向けセミナー)		-	100人	100人	100人	-
⑥研修受講者数 (就職フェア)		-	50人	50人	50人	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） 3医療機関において延べ3回実施し、受講者は3人であった。 訪問看護ステーションの新規雇用者研修では、12施設14名について研修が実施された。 キャリアチェンジ研修については、2回実施し計54名が受講した。
	指標① 目標：25回 実績： 3回 達成率： 12%
	指標② 目標：15人 実績： 14人 達成率： 93 %
	指標③ 目標：60人 実績： 54人 達成率： 90 %
令和5年度	・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） 7医療機関において延べ9回実施し、受講者は9人であった。 訪問看護ステーションの新規雇用者研修では、10施設14名について研修が実施された。 キャリアチェンジ研修については、2回実施し計53名が受講した。
	指標① 目標：25回 実績： 9回 達成率： 36%
	指標② 目標：15人 実績： 14人 達成率： 93%
	指標③ 目標：60人 実績： 53人 達成率： 88%

令和6年度	事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） 1医療機関において延べ1回実施し、受講者は1人であった。 訪問看護ステーションの新規雇用者研修では、12施設12名について研修が実施された。 キャリアチェンジ研修については、2回実施し計73名が受講した。
	指標① 目標：5回 実績：1回 達成率：20%
	指標② 目標：15人 実績：12人 達成率：80%
	指標③ 目標：60人 実績：73人 達成率：121%

2 事業の評価と課題

（事業の評価）

事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
（評価） 2	看護職員の需要が見込まれる中、就業を希望する看護師等の看護に関する知識や技術に関する不安を軽減し、就業の促進、定着を図るため、本事業の必要性は高い。
事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
（評価） 1	医療機関等実施研修回数については達成率が20%で需要が少ないが、看護補助者の就職につながった。キャリアチェンジ研修は受講希望も多く、満足度の高いものとなっている。
事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
（評価） 1	再就業相談や職業紹介を実施している者に委託することで、求人・求職に関するデータが活用できる。また、看護職員を対象とした研修実施の実績があるため、効果的に事業が実施できる。

（今後の課題）

事業が直面する課題や改善が必要な事項 希望者の多いプラチナナースセミナーについて、受講枠を増やすなど拡充について検討する。

（次年度の方向性）

継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 全国的に力を入れている看護補助者に対象を絞った研修として「医療機関・高齢者施設研修」を実施し、看護補助者の仕事について周知する。さらに、看護職不足解消のため、既存のキャリアチェンジ研修を含む新規メニューによりプラチナナースについての理解を深める。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	看護職員再就業支援研修事業【医療福祉連携推進課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	上記事業にて離職により不足した技術の演習を実施し、本事業において実際に就業予定の事業所で実習を行うことにより受講者の再就業へ全面的に支援することとなり、より多くの受講者の再就業となることが期待できる。